



サントス作《フルートを吹く男》2012年  
国立民族学博物館所蔵

## 特設展示 武器をアートに Transforming Arms into Art

特設展示「武器をアートに」では  
武器で作った  
6つのアートを紹介します  
アフリカ南東部のモザンビークでは  
独立後の内戦で国外から  
大量の武器が流入しました



サントス作《本を読む人》2008年  
えひめグローバルネットワーク所蔵



ケスター作《ギターを弾く男》2012年  
国立民族学博物館所蔵

1995年、その武器を鋏や自転車などの生活用品と交換した  
「銃を鋏に」プロジェクトと呼ばれる  
回収運動がモザンビーク国内で始まり  
そこで回収された武器の一部を使って  
同国のアーティストが武器アートを制作しました  
これらの作品をとおして、困難な状況にただ甘んじるのではなく  
自分たちの未来を作り出そうと平和を希求し  
力強く生きようとするアフリカの人びとの様子を  
感じていただければと思います

聖心グローバルプラザ  
BE\*hive  
展示 + ワークショップスペース

開館日・時間  
月～金：10:00am～6:00pm  
土：11:00am～4:00pm



●東京メトロ日比谷線「広尾駅」  
4番出口 徒歩1分

### 自ら「気づき、学び、行動する」創発の場へ

BE\*hiveでは、世界に今ある、さまざまな現実・課題を五感で知ることができます。  
「なぜこのような問題が起きたのか?」「私たちはどう関わっていくのか?」といった  
探求心が芽生えるような問いかけを通して、自分なりのアクションを見つけることのできる空間です。



聖心女子大学4号館／聖心グローバルプラザ



BE\*hiveではワークショップも開催



ブリット記念ホールでは各種イベントも開催

聖心女子大学  
グローバル共生研究所  
Sacred Heart Institute for Sustainable Futures [SHISF]

150-8938 東京都渋谷区広尾4-2-24  
聖心女子大学4号館／聖心グローバルプラザ  
phone：03-3407-5811(大学代表)  
e-mail：kyosei@u-sacred-heart.ac.jp  
HP：http://kyosei.u-sacred-heart.ac.jp/

# Displaced People in Asia & Africa

聖心グローバルプラザ  
BE\*hive  
展示 + ワークショップスペース

## アジア・アフリカの 難民・避難民展

2018年9月17日[月]—2019年3月15日[金]まで  
聖心女子大学4号館／聖心グローバルプラザ

主催●聖心女子大学グローバル共生研究所  
特別協力●国立民族学博物館／特定非営利活動法人えひめグローバルネットワーク  
※平成30年度国立民族学博物館  
公募型メディア展示事業

||| 入場無料 |||



特設展示 武器をアートに  
Transforming Arms into Art  
～2019年4月27日(土)まで



ケスター作《肘掛椅子》2012年 国立民族学博物館所蔵

※写真の《肘掛椅子》は2018年9月17日から2019年4月27日までエントランスにて展示します。  
※2018年10月31日から2019年3月15日まで関連する小アートやパネル、映像作品を展示します。

聖心女子大学  
グローバル共生研究所  
Sacred Heart Institute for Sustainable Futures [SHISF]





ここは、出会いの空間。  
素直な気持ちで、世界と向き合うための場所。  
小さな羽音の集まりが、  
いつしか世界とつながる勇気になるだろう。  
This is the space for encounters.  
A place to face the world with genuine feeling.  
A place to grow, to learn, to be inspired.

# BE\*hive

展示 + ワークショップスペース



## 聖心女子大学 グローバル共生研究所

Sacred Heart Institute for Sustainable Futures [SHISF]



展示品の一部抜粋

- A 避難が長期化する難民  
Protected Situations of Displaced People
- B アフリカの難民 - タンザニア  
Displaced People in Africa - The case of Tanzania
- C アジアの難民 - バングラデシュ・ロヒンギヤ  
Displaced People in Asia - The case of Bangladesh and Rohingya
- D ミャンマーとロヒンギヤの人びと  
Myanmar and Rohingya people
- E ワークショップスペース  
Workshop Space
- F わたしたちの活動  
Our actions
- G 特別企画展  
Special exhibition



展示とワークショップの場であるBE\*hiveでは  
おおそ2年ごとにテーマを設定し  
半年ごとに小テーマを変えています  
みなさまが繰り返し来訪し  
出会いと学びを深めていただけることを期待します  
今回の展示テーマは「アジア・アフリカの難民・避難民」です  
ここでは、タンザニアにあるニャルグス・キャンプと  
バングラデシュのロヒンギヤ・キャンプに暮らす  
人びとの様子を展示しています  
店を開き、日雇で労働し、子育てなどをしながら  
難民キャンプに暮らす人びとは  
日々をたくましく生活しています



# Displaced People in Asia & Africa アジア・アフリカの難民・避難民展

- 聖心女子大学グローバル共生研究所  
「アジア・アフリカの難民・避難民展」展示担当所員
- 大橋正明(教授/所長)  
永田佳之(教授/副所長)  
Brenda Bushell(教授/所員)  
石井洋子(准教授/所員)  
林 真樹子(助教/所員)  
加藤丈太郎(客員研究員)  
下野尚徳(客員研究員/東京外国語大学講師)  
下澤 雄(客員研究員/静岡文化芸術大学教授)  
内藤直樹(客員研究員/徳島大学准教授)
- 特定非営利活動法人  
開発教育協会(DEAR)
- 中村絵乃(事務局長/ファシリテーター)  
八木亜紀子(ファシリテーター)  
伊藤容子(ファシリテーター)  
岩岡由季子(ファシリテーター)  
木村万里子(ファシリテーター)
- 本展示協力団体・個人の皆さま
- 特定非営利活動法人アフリック・アフリカ(AFRIC Africa)  
特定非営利活動法人えひめグローバルネットワーク  
(Rhime Global Network)  
特定非営利活動法人開発教育協会(DEAR)  
国立行政法人国際協力機構(JICA)  
国立民族学博物館(National Museum of Ethnology)特別協力  
国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)駐日事務所  
特定非営利活動法人国連UNHCR協会(Japan for UNHCR)  
特定非営利活動法人国境なき医師団(MSF)日本  
株式会社デザインFF(design FF)  
日本赤十字社(Japan Red Cross Society)  
株式会社毎日新聞社(Mainichi Newspapers)
- 網中昭世(日本貿易振興機構 アジア経済研究所)  
近藤有希子(日本芸術振興会)
- 福澤郁文(アートディレクター)  
三井昌志(写真家)  
秋山 瀬(版画家)  
飯塚明夫(写真家)  
大橋 新(木工造形作家)  
加藤浩男(造形作家)  
近藤 靖(ウガンダUNHCR)
- 佐藤博昭(映像作家)  
柴田千晶(詩人)  
立川真理子(アトリエまあん)  
経 真珠美(アーティスト)  
経 創一郎(アーティスト)  
長崎克夫(建築家)  
中島悦子(詩人)
- 中島秀雄(写真家)  
永野武宏(グラフィックデザイナー)  
中村 圭(アーティスト)  
楠谷 純(画家)  
南島 隆(彫刻家)  
吉田哲夫(造形作家)